



## 市民活動交流カフェを開催しました

3月5日(日) 第2回交流カフェを、綾瀬市中央公民館講堂で開催しました。今回は『大災害から街や命をまもるには』～関東大震災から100年～今あなたは何をすべきか』をテーマに(株)湘南平塚コミュニティ放送パーソナリティの山田美智子さんをお招きして開催しました。



講演では関東大震災・東日本大震災を実例に、災害時の自分自身の身の守り方、地域住民の協力の在り方などの講演を受けました。参加者の方からは家の防災用品の見直しをしよう、隣近所とのコミュニケーションを今一度考えようとの意見が聞かれました。また、当日は聴覚障がい者の方も要約筆記者の方の協力で参加されました。

## 「あやせ公民館まつり」でセンターをPR

2月26日(日)に「あやせ公民館まつり」が3年ぶりに開催され、当センターを運営しているNPO法人コミュニティサポートあやせは、掲示(ボランティア体験・SDGs)やパンフレットによる活動紹介の他に、アクションとして「お菓子釣り」と「焼き鳥」のコーナーを設けました。焼き鳥は大盛況で、900本もの焼き鳥を販売することができました。

また、「お菓子釣り」にも家族連れの方々がおとずれて、綾瀬の子どもたちとシニア世代が、ほっこりとする楽しい時間を演出することができました。



## 2年ぶりの市民活動交流会

12月4日(日)に市民活動センターあやせ主催の「市民活動交流会」が綾瀬市中央公民館講堂で開かれました。

コロナ禍の影響により2年ぶりの開催となった今回は、「綾瀬の市民活動をもっともっと盛り上げよう」をテーマに、各団体の活動発表や演奏発表がありました。

参加者からは「他の団体の活動が分かった」、「演奏の発表が素晴らしいかった」という声が多数寄せられました。



市民活動センターあやせに登録された市民活動団体のSDGsの取り組みは、ホームページや情報紙で随時紹介しています。

<http://ayaseshiminkatsudo.o.oo7.jp/>

## 市民活動センターあやせ

〒252-1107 綾瀬市深谷中1-3-1 中央公民館内

TEL&FAX : 0467-70-1232

Eメール : ayasenposc@gmail.com

開館時間 : 9:00 ~ 21:00

休館日 : 火曜日、毎月第3水曜日、年末年始

※ホームページで最新情報を発信しています。  
「市民活動センターあやせ」で検索してください。



登録団体数 : 167 団体 (2023年2月末現在)

「地域や社会のために何かしたい…」  
そんな思いを形にしたいなら  
是非相談してみてください!



# さらめき

親の笑顔は子どもの心も笑顔にする

— ひなたぼっこ —



発達障がいのある子や、発達が気になる子をもつ親の会「ひなたぼっこ」は、綾瀬市内で、お話しや講演会、ワークショップ、オープンイベントの「1日ひなたぼっこ」などを開催しています。

同会は綾北小学校特別支援学級に通う児童のお母さん達3人によって立ち上げられました。ドキュメンタリー映画「みんなの学校」を見たことがきっかけで、「私たちに出来ることは何だろう?」と感じたそうです。自ら経験したことや知識・想いを、映画に重ねて伝えていきたいとの思いから、2019年に、会の前身となる「みんなで観よう『みんなの学校』実行委員会」を設立。市内のカフェで上映会を開き、2日間で計6回上映しました。上映後に座談会を開いたところ、人それぞれに悩みが違うことにも気づかされ、とても良い時間となったそうです。そこで、この座談会を活動の中心にしようと考え、新たなメンバーも迎えた2021年に「ひなたぼっこ」と改名し、活動を始めました。

取材に伺った「お話し会」は、同じような悩みをもっている人に安心して聞いてもらえる場となり、スペースを開放する「1日ひなたぼっこ」では、子ども達の作品展や、便利グッズの展示、個別相談などが行われていました。「困ったとき、元気をなくして立ち止まったとき、『ひなたぼっこに行けば何とかできる』と思ってもらえる、お守りのような存在になれば」と、代表の原田さん。参加者のお母さん達も新メンバーとなり、現在は7人に。仲間が増えたことで、「ひなたぼっこ」は、ますます活動の幅を広げています。



活動日時 : 随時  
活動場所 : 市内地区センター等  
【連絡先 : 080-5099-9458(原田代表)】



## 25周年コンサート & 新たな仲間を募集

大正琴・ベル・朗読劇を通じて、施設訪問ボランティアを行っている「ONE ハート」が25周年を迎え、11月23日に記念コンサートを開催しました。会場には約120名の来場者が足を運び、のびやかな音色に聞き入っていました。

ONE ハートでは、人気の高いミュージックベルのグループのメンバーを新たに募集するそうです。4月12日(水)10:00~11:30 高齢者福祉会館にて活動開始予定。ボランティア未経験の方や、ベル初心者の方は、是非参加してみたいかでしょうか。問合せ ☎0467-79-1379 (ONE ハート 齋藤さん)



## 一生使えるセルフケアを学びませんか？

2月16日に綾瀬市中央公民館で「東洋セラピー」の座学が行われました。同団体は「自分の身体がどうなっているか知りたい」、「健康の知識を大切な人や日常に活かしたい」という方におすすめ。国家資格を保有する医療従事者が講師を務め、東洋・西洋医学、運動、栄養など多角的視点から学べます。初めての人にもわかりやすい内容で、フランクな雰囲気の中で楽しく活動していました。中央公民館での座学と、南部ふれあい会館での運動を行っており、座学・運動、片方のみの参加もOKとのこと。問合せ ☎0467-70-1232(当センター)



座学の様子

## 様々な写真作品がずらり



綾瀬写真協会による「第10回写真展」が1月10日から16日に綾瀬市役所7階市民展示ホールにて開催されました。一瞬を切り取った一枚や、美しい景色、自然の姿など、会場には100点以上の多彩な作品が並び、見事でした。また、一般市民参加撮影会での市民の方の作品も合わせて展示されました。

## お互いの国の文化知り、国際交流深める

2月11日に、綾瀬市オーエンス文化会館であやせ国際フェスティバルが開かれ、スピーチやパフォーマンス、各国のグルメ販売などが行われました。



スピーチをするアルマンスール氏

今回は「つなげよう！ちがいを超えて友だちの輪」をテーマに開かれ、ゲストスピーチには慶應義塾大学講師でシリア国籍のアルマンスール アフマド氏がゲストスピーチを行い、シリアの文化や情勢について説きました。トルコ・シリア地震の直後だったにもかかわらず登壇したアルマンスール氏の想いは、客席の人々の胸に響き、大きな拍手が寄せられていました。

## 活動情報をお寄せください！

「きらめき」では、市民活動センターあやせに登録している団体さんの活動報告やイベントのお知らせを紹介しています。活動の写真や情報をお寄せください！

Mail : ayasenposc@gmail.com

## 新規登録団体紹介

紹介している団体は、2022年12月1日以降に登録された団体です。登録を希望する団体は当センターまでご連絡ください。

上深谷ジャガーズ (登録 NO.172)

設立年月日 1975年7月1日

活動分野 学術・文化・芸術・スポーツ、子どもの健全育成

活動目的 ・健康な心身を自ら作ろう・あいさつのできる子供になろう・仲間を大切にしよう

活動内容 活動日：土・日・祝日 活動場所：綾瀬小学校、吉岡浄水場、蓼川スポーツ広場など  
内容：少年軟式野球

代表者 非公開

問い合わせ 当センターへお問い合わせください

Storytime for Ayase Kids (登録 NO.173)

設立年月日 2023年1月13日

活動分野 国際協力・交流、子どもの健全育成

活動目的 ①洋書絵本を通し、子どもたちに幼少期から英語や他文化にふれる環境を少しでも多くつくるため、②国籍関係なく、親子が交流できる場をつくるため

活動内容 月に1回以上、英語の絵本や歌を使用したおはなし会を行う

代表者 山本 舞

問い合わせ 当センターへお問い合わせください

## 市民活動のための助成金情報



### 生活学校助成

主催：公益財団法人あしたの日本を創る協会  
期限：2023年4月30日(日)  
金額：生活学校への参加 6万円  
全国運動への参加 上限5万円(テーマ有)  
対象：①身近な地域や暮らしの課題解決に取り組む地域活動団体②全国の生活学校が連携して行う全国運動に参加する意向のある団体(①及び②の両方に該当する団体)

問合せ：☎03-6240-0778(同協会)



### 子どもゆめ基金

主催：独立行政法人 国立青少年教育復興機構  
期限：2023年6月27日(火) 17時締切  
金額：市区町村規模の場合 限度額 100万円  
対象：分野1 子どもの体験活動  
分野2 子どもの読書活動  
分野3 子ども向け教材開発・普及活動

問合せ：☎0120-579081(同機構)  
✉ yume@niye.go.jp

\*これらの情報は市民活動センターあやせに掲載している情報です。最新の情報や募集要項など、詳細については当センターまでお問い合わせください。

## 取材ごぼれ話

1面記事で取り上げた「ひなたぼっこ」代表の原田さん。お話を通じて、お母さんたちの経験談や情報を聴くことで、皆さんの力を感じる事が多く発想の広さを感じました。子どもにも力がある。その力を発信できる場でもありたい。「この子のお母さんになれて幸せと思えるように感じてもらう」ことが役割ですと、にこにこしながら語られたのが印象的でした。団体名称が「ひなたぼっこ」ではなく「ひなたぼっこ」にしたのは、音の響きが明るく感じられるからとのお話。

(黒田)